

「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート		
1－2－2 市立病院が地域の基幹病院としての役割を果たしている		
総合計画体系	健康領域・基本目標	人の健康・一人ひとりがいつまでも元気でいられるまち
	個別目標	いつでも必要な医療が受けられる
	めざす成果	市立病院が地域の基幹病院としての役割を果たしている 医療の高度化や地域連携が図られており、地域の基幹病院としての役割を果たしています。

「めざす成果」を達成するための施策展開（ロジックツリー）				
めざす成果	具体的な施策	取り組み内容	事業名	担当部
市立病院が地域の基幹病院としての役割を果たしている	二次医療機関としての市立病院の診療体制を確立する	① 医師・看護師等を確保するとともに人材の育成を図る	市立病院運営事業	市立病院
		② 地域診療所等との連携を推進し、高度な医療を提供できる体制を整える	市立病院運営事業（再掲）	市立病院
		③ 持続可能な経営基盤を構築する	市立病院運営事業（再掲）	市立病院
		業務のシステム化と効率化による病院マネジメントの確立を図る	市立病院運営事業（再掲）	市立病院

* 再掲・・・複数の「取り組み内容」に係る事業について表示しています。

総合計画掲載指標①		総合計画掲載指標②		総合計画掲載指標③	
医師の総数		紹介率		市立病院における経常収支率	
計画策定時 現状値	65人	計画策定時 現状値	28.3%	計画策定時 現状値	88.9%
実績値 (H22)	72人	実績値 (H22)	42.9%	実績値 (H22)	100.0%
中間目標値 (H23)	79人	中間目標値 (H23)	38.0%	中間目標値 (H23)	100.0%
目標値 (H25)	79人	目標値 (H25)	42.0%	目標値 (H25)	100.0%

「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート	
主な取り組み内容	【二次医療機関としての市立病院の診療体制を確立する】 ・平成23年4月現在、正職医師は73名となり、平成22年度末に比べ2名を増員することができました。 ・地域医療機関との連携を強化することで、平成22年度の紹介率が42.9%になりました。 ・7対1看護基準を年間を通して維持したことで質の高い看護サービスの提供と収入の増加が図れました。 ・病棟廊下の照明をLED化することなどにより省エネ化と経費節減につなげました。

構成事業に対する考え方 （事業の量及び実施手法）	・大和市立病院が地域の基幹病院として在り続けるには、健全で安定した経営のための改善が不可欠であり、その結果、良質な医療サービスが地域住民に提供できるようになります。そのためには、経営改善のために策定された「大和市立病院経営計画」に掲げた緊急対策項目を早急に行う必要があります。
-----------------------------	--

今後の展開方針		注）例年どおりの事業展開を予定している事務事業については、特段の記載をしていません。
新規事業の立案	・DPC導入に向けた準備や、医師・看護師の事務作業負担軽減、NICUに施設基準取得について検討します。	（該当する事務事業） 市立病院運営事業
既存事業の拡充	・診療体制の充実に対応するための職員定数見直しと長期的展望にたった職員確保対策を推進するとともに、小児救急をはじめとする救急医療体制の充実やさらなる施設基準の見直しと新たな施設基準の取得について検討します。	（該当する事務事業） 市立病院運営事業
事業の廃止・縮減		（該当する事務事業）
事業の効率化		（該当する事務事業）
その他見直し		（該当する事務事業）

施策への提言	
総合計画審議会記入欄	＊平成22年度に提言を受けています。